

# 茨建協

## ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2024.7 NO.660



## 茨城のお祭り

### 第64回 水戸黄門まつり (水戸市) 8月3日(土)・4日(日)

昭和36年に始まった水戸黄門まつり。本祭は国道50号を会場に「水戸黄門提灯行列」「水戸ふるさとみこし渡御」「山車大叩き合い」など圧巻の光景が繰り広げられる。「水戸偕楽園花火大会」は千波湖を会場に7月27日(土)19時30分から開催される。

#### CONTENTS

- 支部対抗チャリティーゴルフ大会を開催
- 参院選で上月氏、見坂氏の推薦決定
- 梅原氏、鶴田氏が国土交通大臣表彰
- 石津会長が全国建産連会長に就任

# 善意寄付金を贈呈

## 第9回支部対抗チャリティーゴルフ大会

本会は6月7日、第9回支部対抗チャリティーゴルフ大会をPGM石岡ゴルフクラブ（ジャック・ニクラウスゴルフコース）で開催。集まったチャリティー金20万円を茨城県アイバンクと茨城新聞文化福祉事業団に寄付しました。団体戦では竜ヶ崎支部が、個人戦では男性が増川剛氏（竜ヶ崎支部）、女性が柳瀬香織氏が優勝。ベストグロス賞を増子秀典氏（常陸大宮支部、グロス71）が獲得しました。

大会には34組総勢133人が参加。新ペリア方式で競いました。

石津健光会長は、チャリティー金の贈呈について「参加された皆さまに深く感謝申し上げる」とあいさつ。

県アイバンクの中川原勇常任理事は「昨年に続き今年もありがとうございます。有効に使わせていただきます」、茨城新聞社の小田部卓相談役も「福祉のために有効に使わせていただく」と感謝の言葉を述べました。



成績上位の支部と個人は次の通りです（敬称略）。

### 【団体】

- ◆優勝＝竜ヶ崎支部
- ◆準優勝＝常陸大宮支部
- ◆3位＝土浦支部



石津会長（中央）が県アイバンク常任理事の中川原勇氏（左）と小田部茨城新聞社相談役（右）に目録を贈呈しました

### 【個人（男性）】

- ◆優勝＝増川剛（竜ヶ崎支部）
- ◆準優勝（ベストグロス賞）＝増子秀典（常陸大宮支部）
- ◆3位＝田口年彦（鉾田支部）

### 【個人（女性）】

- ◆優勝＝柳瀬香織（本部女子）

## 全国建産連会長に本会・石津会長が就任

全国建設産業団体連合会の令和6年度通常総会が6月27日に都内で開催され、新会長に本会の石津健光会長（茨城県建設産業団体連合会会長）が選出されました。石津新会長は「連携・協調を図りながら働き方改革を進め、生産性の向上

に取り組み、安心して安全に暮らせる、暮らしやすい地域づくり、魅力ある産業となるよう努力してまいりたい」と抱負を述べました。



石津会長

## 梅原常任理事、鶴田常任理事が 国土交通大臣表彰(建設事業関係功労) おめでとうございます

令和6年度の建設事業関係功労等の国土交通大臣表彰として、本会からは梅原基弘常任理事（株梅原工務店代表取締役社長）、鶴田哲男常任理事（株鶴田組代表取締役社長）が受賞されました。まことにおめでとうございます。さらなるご活躍を祈念いたします。

### 梅原 基弘（うめはら・もとひろ）氏

梅原氏は昭和41年生まれ、58歳。城西大学経営学部を卒業後、丸紅建設(株)を経て平成3年に(株)梅原工務店に入社。現在は代表取締役社長。

本会では平成28年5月に理事、平成30年5月から常任理事。太田支部では平成22年4月に理事、令和6年5月から支部長。

社業の発展と共に、建設関連団体の役員として建設業の資質向上と発展に寄与されています。



#### 梅原常任理事の話

「協会の皆さま、諸先輩、支部会員などのご指導ご支援に感謝申し上げます。一層、日々の業務や社会貢献活動などに精進してまいります」

### 鶴田 哲男（つるた・てつお）氏

鶴田氏は昭和36年生まれ、62歳。神奈川大学工学部建築学科を卒業後、(有)企画設計に入社。昭和62年に(株)鶴田組に入社し、同年12月に取締役、平成10年から代表取締役。

本会では平成28年5月に理事、令和4年5月から常任理事。常陸大宮支部では平成20年4月に理事。那珂市建設業協同組合の理事長も務め、業界のリーダーとして活躍されています。



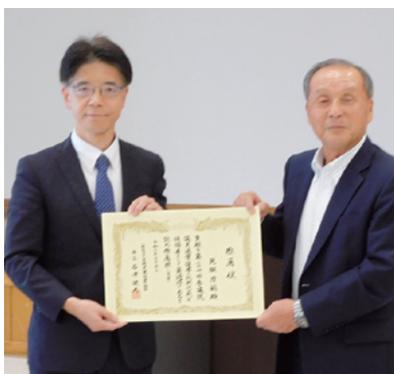
#### 鶴田常任理事の話

「皆さまのおかげで受賞でき、誠に光栄に存じます。今後も後進の育成や技術の継承など、業界の発展のために尽力してまいります」

## けん ざか 上月氏、見坂氏を推薦 理事会で決定

本会（石津健光会長）は7月2日の理事会で、来年の第27回参議院議員通常選挙における茨城選挙区の候補として上月良祐氏を、比例代表（職域代表）の候補として見坂茂範氏を推薦することを決定しました。

推薦について石津会長は「上月氏は本県副知事なども経験され、本県をよくご理解いただいている。見坂氏は関東整備局の企画部長の時に、いろいろ議論させていただいた。候補にふさわしい方である」と紹介しました。



見坂氏（左）に石津会長（右）が推薦状を手交

## 榎村守氏 (株オカベ)

### 全中建会長表彰 を受賞

全国中小建設業協会の令和6年度定時総会（6月19日、コートヤードマリオット銀座東部ホテル）におきまして、全中建茨城の榎村守氏（株オカベ）が建設業振興功労として会長表彰を受賞されました。まことにおめでとうございます。さらなるご活躍を祈念いたします。

県建産連が総会

意見交換進め課題解決



本会も加入している茨城県建設産業団体連合会（会長・石津健光本会会長）は6月3日、令和6年度定時総会を水戸市の茨城県建設センターで開き、令和6年度の事業計画を決定しました。意見交換や情報交換を推進し、団体間の意思疎通を図ります。石津会長は「業界全体が抱える問題を解決するためには、業種の枠を超え、一丸となって取り組んでいくことが重要」とあいさつしました。

建設産業育成支援セミナー

ICTや優良施工を研修



本会は6月21日、日本建設情報技術センターとの共催による建設産業育成支援セミナーを水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加した技術者などは、県のICT施工、高評価の施工例などを通し、生産性向上のポイントを研修しました。また令和5年度の茨城県優良工事表彰知事特別賞「DX賞」を受賞した水郷建設（潮来支部）が自社の取り組みを発表しました。

経営企画委員会

令和6年度事業を協議



経営企画委員会（沢畑正剛委員長）は6月25日、委員会を水戸市の協会本部で開催。令和6年度事業計画などを話し合いました。沢畑委員長は「生産性の向上としてICT施工を積極的に活用し、小規模工事にも適用した方がいいと思う。さらに、ASP（建設情報共有システム）を取り入れ、DXや建設キャリアアップシステム（CCUS）の推進などを図っていきたい」とあいさつしました。

BIM/CIM講習会

技術者が研修



本会は国土交通省関東地方整備局と共に5月17日、「BIM/CIM講習会」を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。主に国交省直轄工事を受注する会員企業の従業員など約30人が学びを深めました。令和5年度から国交省直轄工事でBIM/CIMが原則適用となったことを踏まえ開催。関東地方整備局のBIM/CIM実施方針や中級者向けの演習を行いました。

建災防県支部

死亡災害ゼロ推進大会



建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）は6月25日、令和6年度の建設業「死亡災害ゼロ」推進大会を水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で開催。安全講話を通して絶対無事故を再確認し、大会決議を採択しました。石津支部長は「建設業が健全に発展していくためには、労働災害を無くしていくことが最も重要になる。一丸となって取んでいこう」と呼び掛けました。

1級土木一次検定

合格へ対策講習会



本会と県土木施工管理技士会は5月21日から23日まで、1級土木施工管理技術検定（令和6年試験対応）の第一次検定の受験対策講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加者は法規や施工管理などを研修しました。講師は創成マネジメント参与の宮崎茂氏。講習では、効率の良い学習方法、法規や施工管理、土木一般、専門土木、共通工学について解説しました。

# 支部活動報告

## 水戸支部

### 除草工事で労災防止講習



水戸支部（田口恵一郎支部長）は6月17日、茨城県水戸土木事務所（大森満所長）、茨城県造園業協会県北支部（永島利浩支部長）と現場担当技術者安全講習会を水戸合同庁舎で開催。除草工事の災害防止、時間外労働規制関係などを研修しました。田口支部長は「講習会でやったことを業務に生かし、安全に留意を」とあいさつしました。

## 太田支部

### 県常陸太田工事と意見交換



太田支部（梅原基弘支部長）は6月11日、茨城県常陸太田工事事務所（鈴木敬所長）との見交換会を実施。県土木部施策の最近の動きや建設業を取り巻く現状について意見を交換しました。梅原支部長は「ICT施工やDXの活用拡大を図り、生産性の向上や賃金向上につなげ、持続可能な企業となるよう努めたい」とあいさつしました。

## 太田支部

### Webex促進で講習会



太田支部（梅原基弘支部長）は5月20日、茨城県常陸太田工事事務所（鈴木敬所長）と情報伝達アプリケーション「Webexの活用促進講習会」を常陸太田合同庁舎で開催。活用方法を学びました。梅原支部長は「Webexという新しいツールを用いて、生産性の向上と効率化を実現いただきたい」と期待を寄せました。

## 大子支部

### 生徒とオオキンケイギク駆除

大子支部（大藤博文支部長）は5月30日、頃藤ファミリーマート付近の道路沿いに、オオキンケイギク駆除



作業を県立大子特別支援学校と共同で実施しました。大藤支部長は「駆除作業をするのは今年で10回目。皆さんが去年取ってくれたおかげで今年生えていない部分もある。暑さに気を付け、事故のないように」とあいさつしました。

## 太田支部

### 除草作業に汗流す



太田支部（梅原基弘支部長）は6月5日、建設未来協議会（櫻井俊一会長）と共に山吹運動公園源氏川沿いの除草ボランティア作業を実施しました。梅原支部長は「ここは多くの人が集う場所となる。今年は2回実施したい。ご協力を」とあいさつ。太田支部の除草ボランティア活動は平成20年から実施しており、今年で25回目。

## 鉾田支部

### 県出先事務所と意見交換



鉾田支部（羽生義隆支部長）は6月14日、茨城県鉾田工事事務所（佐藤啓司所長）、茨城県鹿行水道事務所（岩崎英雄所長）との意見交換会を開催。同支部からは二次製品の使用推進と積算価格、検査書類限定型工事の推進、災害対応での優先順位など6項目を要望。また、担い手の育成確保について活発に意見を交わしました。

# 支部活動報告

## 銚田支部

### 刈払機使用で安全講習会



銚田支部（羽生義隆支部長）は6月20日、茨城県銚田工事事務所（佐藤啓司所長）と現場担当技術者安全講習会を開催。約70人が参加し、刈払機などの使用にあたっての労働災害防止対策について学びました。羽生支部長は「厳しい暑さの中であっても事故を絶対に起こしてはならない。安全第一に努めてほしい」と強調しました。

## 常総支部

### 建設技術展示館で研修



常総支部（中川原勇支部長）は6月27日、現場代理人研修視察を千葉県松戸市の建設技術展示館で実施。さまざまな技術を体験しました。建設技術館ではレーザースキャナやトータルステーションの体験、災害対策車両の見学を実施。中川原支部長は「現場活動でも役に立つので、大変有意義な視察研修であった」と話しています。

## 潮来支部

### 鹿行地区建設業安全大会を開催



潮来支部（松崎里志支部長）は6月19日、第22回鹿行地区建設業安全大会を高正U&Iセンターホール（鹿嶋勤労文化会館）で開催。表彰や講話を通じて労災防止意識を再確認しました。松崎支部長は「安全衛生活動を再検証し、新たな観点での取り組みに生かしてほしい。熱中症対策や交通事故防止にも尽力を」とあいさつしました。

## 境支部

### 県境工事と意見交換会



境支部（新井孝支部長）は6月20日、茨城県境工事事務所（真中剛所長）との意見交換会を境工事事務所で開催。特例監理技術者制度や低入札調査制度改正、提出書類の簡素化などについて意見を交わしました。新井支部長は「ICTや建設キャリアアップシステムなど、業界としていろいろ勉強していかなければならない」と話しました。

## 常総支部

### 担い手確保などで県と意見交換



常総支部（中川原勇支部長）は6月24日、茨城県常総工事事務所（兼澤公也所長）、茨城県県西水道事務所（飯村成洋所長）と意見交換会を開催。2024年問題や担い手の育成・確保の取り組みなどについて意見を交わしました。中川原支部長は「安全第一で作業を進めたい。災害にも迅速かつ的確に対応する」とあいさつしました。

## 県西3支部

### ICT研修会で実測体験



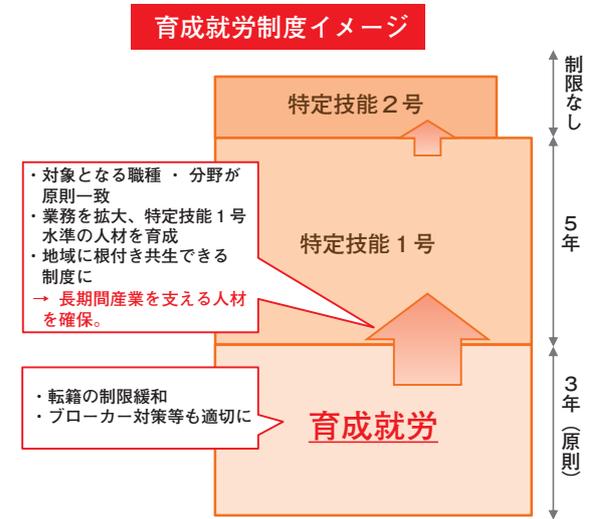
常総支部、筑西支部、境支部は6月4日、5日、6日、茨城県検査指導課と共にICT施工研修を目的とした「もっとはじめの一步体験会」を各支部で開催。試行要領などを研修し、要領に沿った実測などの実習を行いました。常総支部では中川原勇支部長が「ICT施工における実測などを実習で身につけてほしい」とあいさつしました。

# 育成就労法が成立 外国人材育成と確保へ

本年6月14日に改正入国管理法が成立し、技能実習制度を改正した「育成就労制度」が設立されました。育成就労とは、外国人の「人材確保と育成」を目的に作られた制度で、就業可能な業種には建設業も含まれています。育成就労期間は原則3年。

人材のスキルアップやキャリアアップのため、特定技能1号に該当する人材を育てることも目的となっています。特定技能1号は、外国人に対して日本語能力と特定の分野でのスキルや知識を問う試験に合格しなければならない在留資格です。

そのため建設業で育成就労を活用するメリットとしては①長期雇用を検討しやすくなる②日本語能力の向上が求められるため、建設現場などで意思疎通が図りやすい③企業のニーズに合わ



せて育成できれば人材不足の解消につながる—などがあります。

また、本人の意向を反映できる転籍も可能となっています。

# 茨城働き方改革推進支援センターのご利用を

茨城働き方改革推進支援センター（受託団体：全国社会保険労務士会連合会、茨城県社会保険労務士会）では、社会保険労務士が働き方に関する相談を無料で受け付けています。

相談内容は、生産性の向上（IT活用等）、人材採用・確保、人材育成・教育訓練、長時間労働の是正など、就業規則の作成方法、賃金規定の見直し、労働関係の助成金の活用など、働き方改革

についての幅広い内容に対応しています。働き方改革の推進へ、ご利用ください。



### 【お問い合わせ】

◆茨城働き方改革推進支援センター  
〒311-4152 水戸市河和田1丁目2470-2  
茨城県社会保険労務士会館2階  
電話 0120-971-728 F A X 029-350-1159

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災補償制度 **建設共済保険**

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

## 献血活動に協力



### 【常総支部】

常総支部（中川原勇支部長）は6月6日、献血活動を実施しました。会員企業社員のほか茨城県常総工事事務所職員など118人が来場。献血は今回で21年目。中川原支部長が「多くの方に参加していただき、とても感謝している。社会貢献活動として続けていきたい」と話しています。



### 【境支部】

境支部（新井孝支部長）は6月5日、献血活動を行いました。会員企業の社員・家族、茨城県境工事事務所職員など57人が参加。新井支部長は「6月に毎年行っており、活動が地域貢献になれば」と話し、日本赤十字社は「この時期は体調を崩す人が多く、ありがたい」と感謝しています。

## 初めての出前授業 建設未来協と実施



本会と建設未来協議会は6月12日、新規事業である「建設業出前授業」を美浦村立美浦中学校の2年生に行いました。栗山工業(株)（竜ヶ崎支部）の栗山秀樹代表取締役が建設業の内容や役割を説明。「やりがいのある仕事」と伝えました。

出前授業は、未来の担い手である子どもたちをはじめ、その保護者や教員にも建設業を認知してもらい、災害対応などあまり知られていない建設業の取り組みを認識してもらうことが目的。

栗山代表が「『建設業ではたらく』と『安全安心なまちをいつまでも』をテーマで話したいと思います」とあいさつ。

授業を受けた生徒は「(建設業は)力仕事のイメージでしたが、思っていたより機械化が進んでいて驚きました」と話していました。

## 建設現場を描いた図画 小中学生から募集

本会は、令和6年度「建設現場を描いた図画コンクール」の作品を募集しています。県内の小学校3年生から中学生までに、建設現場で働く人や建設機械などを描いてもらうものです。取り組みを通じて建設業への理解を深めてもらい、業界のイメージアップを図ります。

過去の作品や募集要領などは、本会ホームページ「図画コンクール」に掲載しています。

## 会員の動向

### 〈新規入会〉

▽土浦支部  
 (株)つくば開発 代表取締役 吉田達也  
 住所 〒305-0023 つくば市上ノ室931-5  
 電話 029-875-4488

### 〈代表者変更〉

▽水戸支部  
 昭和建設(株) 小松原 仁 → 仁田原 一義

▽大子支部  
 (株)藤田工務店 藤田 強 → 藤田 紀子

▽常総支部  
 (株)門井建設 門井 勘一 → 門井 直樹  
 〈住所変更〉

▽常陸大宮支部  
 (株)八木組 〒311-1242 ひたちなか市西赤坂3996-1  
 → 〒319-1243 ひたちなか市北神敷台20-1

▽土浦支部  
 (株)アレスコ 〒315-0005 石岡市鹿の子1-18-12  
 → 〒315-0016 石岡市総社2-10-9